

月刊『ビルクリーニング』が「新型コロナウイルス感染症流行の影響調査」を実施！ ビルメン企業の約8割以上が「経営に悪い影響があった」と回答 消毒・除菌作業の実施は約4割

清掃業界唯一の専門誌、清掃スタッフのための技術情報マガジン月刊『ビルクリーニング』（発行：株式会社クリーンシステム科学研究所）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行に伴い、全国の清掃関係のサービスを提供する企業及び従事者を対象とした「新型コロナウイルス感染症流行の影響調査」を5月11日（月）～31日（日）にインターネットで実施しました。

本調査は、政府からの緊急事態宣言が発令され、ビルメンテナンス業界にどのような影響が及ぶのか調査したもので、業界の状況把握と早急に取り組むべき対策のヒントとするとともに、業界全体で結果を共有し、アフターコロナの業界のあり方を模索するものです。

調査の結果、経営者・管理者層の8割以上が「経営に悪い影響があった」と回答し、「売上減少」「業務の縮小・延期・中止要請」などの結果が突出していることがわかりました。また、この影響については1年以上続くとの見通しを立てており、長期戦を予測している意見が目立ちました。

新型コロナウイルスによって、消毒・除菌作業が世間から高い注目を集めるなか、実際に「依頼があって実施した」との回答は約4割。一方で、「依頼はあるが断っている」「別の企業に委託した」と回答したのが約3割となっており、その理由としては「技術や装備がない」「社員の感染が心配だ」「マニュアルがない」という意見に集中していることがわかりました。今後、アフターコロナ、Withコロナの時代に沿った消毒・除菌作業は増加すると予測できます。消毒・除菌のノウハウを得て、新しい清掃サービスの展開を行うことが求められているのかもしれない。

次ページ以降で、アンケートのQ1～3までの結果をお知らせします。Q4～6の自由意見の回答については割愛させていただき、詳細な結果については、6月25日に発売される月刊『ビルクリーニング』7月号に掲載させていただきます。

調査概要

■調査方法

①クリーンシステム科学研究所が運営するビルクリーニング・オンラインに回答フォームを掲載、②クリーンシステム科学研究所が運営するビルメンブックセンターに登録しているお客様へメールマガジンで通達、③SNS（ツイッター、インスタグラム）での情報拡散、④業界関連サイト（掃除のつば、Builpoなど）を通じた情報発信

■回答方法

携帯端末とパソコンの両方に対応した「Googleフォーム」により、無記名方式で実施。

■調査期間

2020年5月11日（月）～31日（日）

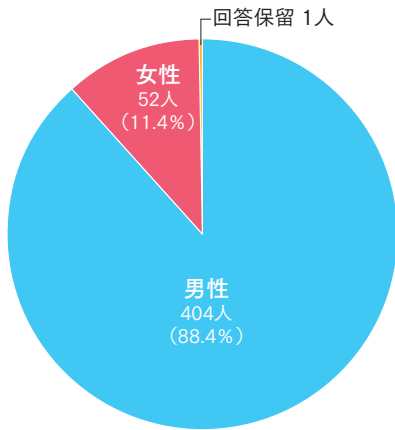
■回答数

457件

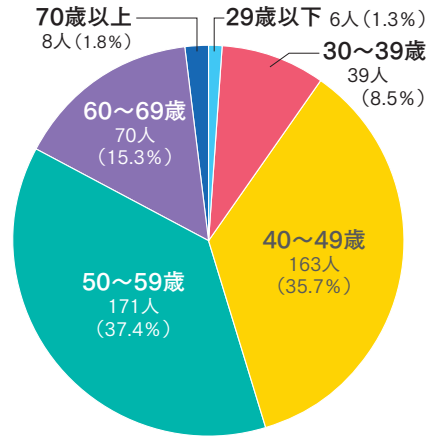
Q1 あなたの属性・勤務先についてお尋ねします。

回答数：457件

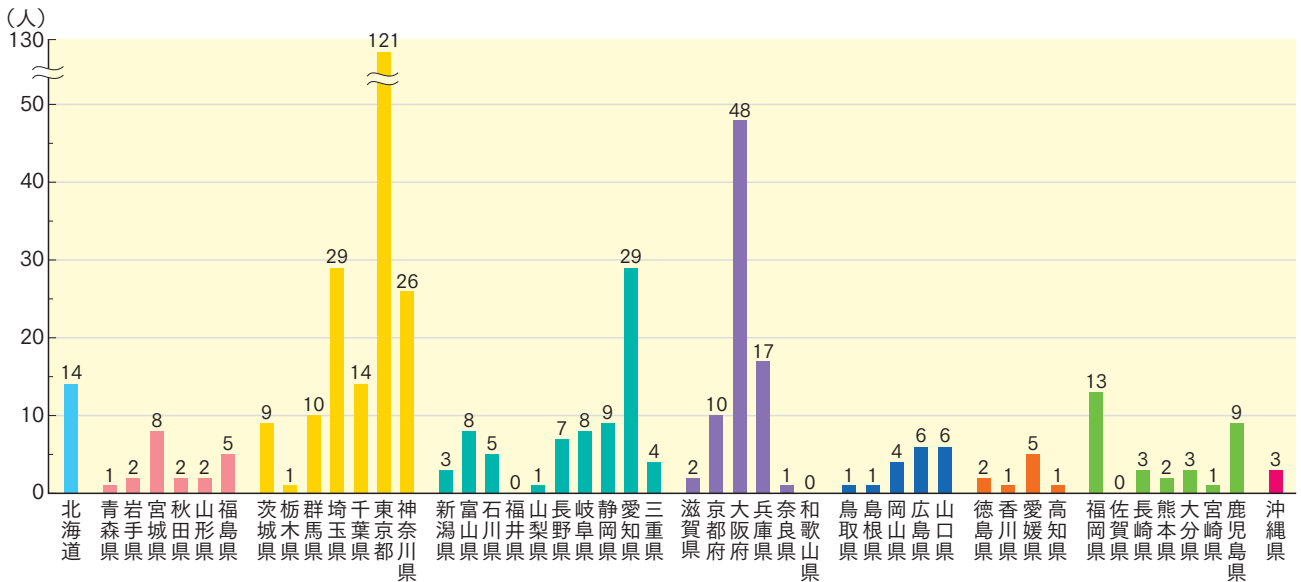
1-1 性別



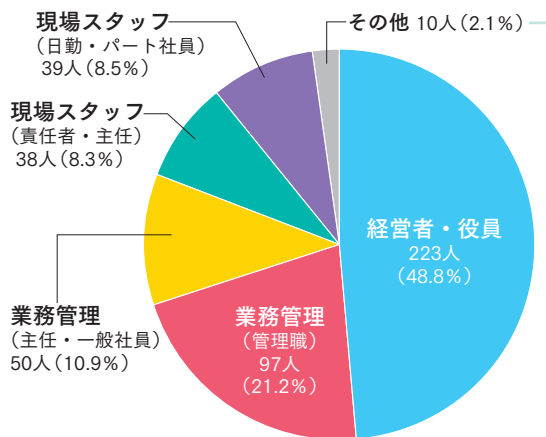
1-2 年齢層



1-3 勤務地の都道府県

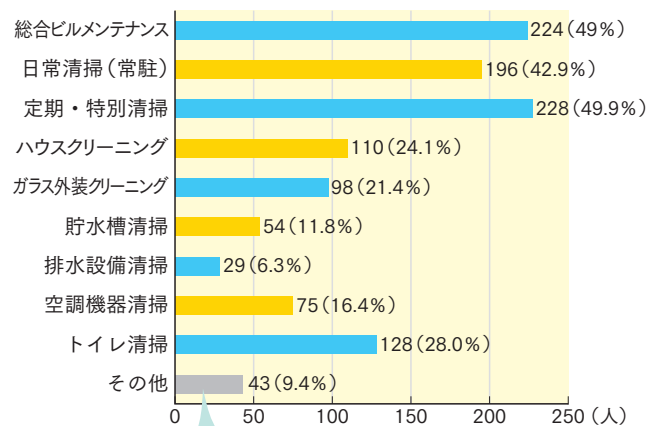


1-4 勤務先での職種・役職



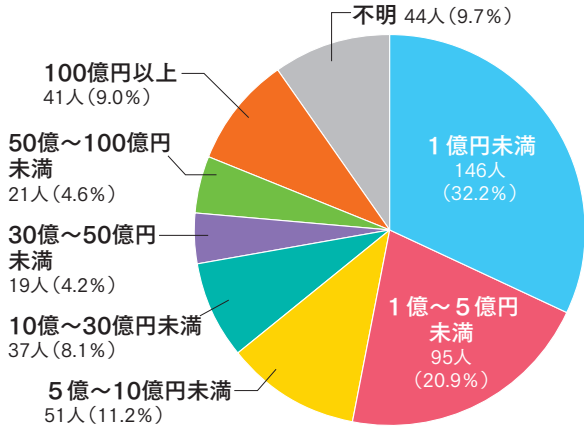
清掃道具販売(営業)、事務職、品質管理、教育・現場支援、一人親方、嘱託社員、ガラスクリーニング、竣工清掃 など

1-5 勤務先の主な業務 (複数回答可)

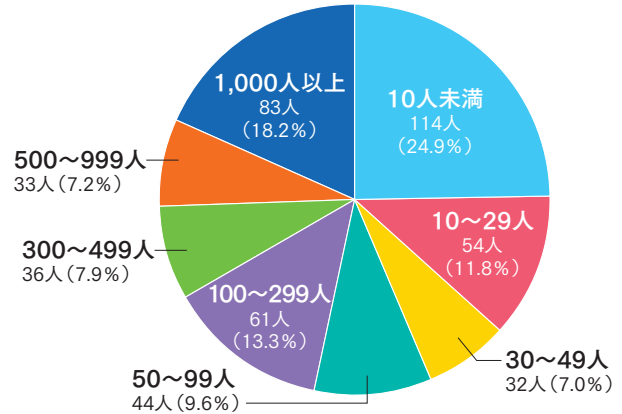


メーカー、指定管理者、リフォーム、除菌・カビ除去施工、汚水処理、不動産業、玄関マット・モップレンタル、資機材販売、警備業全般、資源再生、特殊技術清掃、コンサルタント など

1-6 勤務先の年商規模



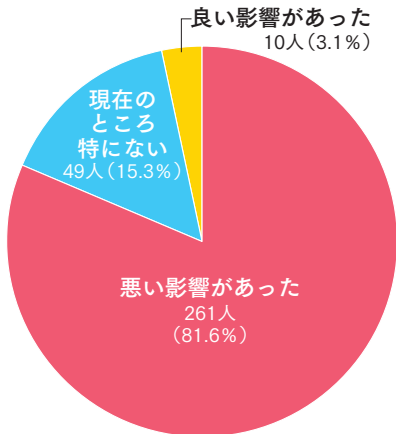
1-7 勤務先の従業員数



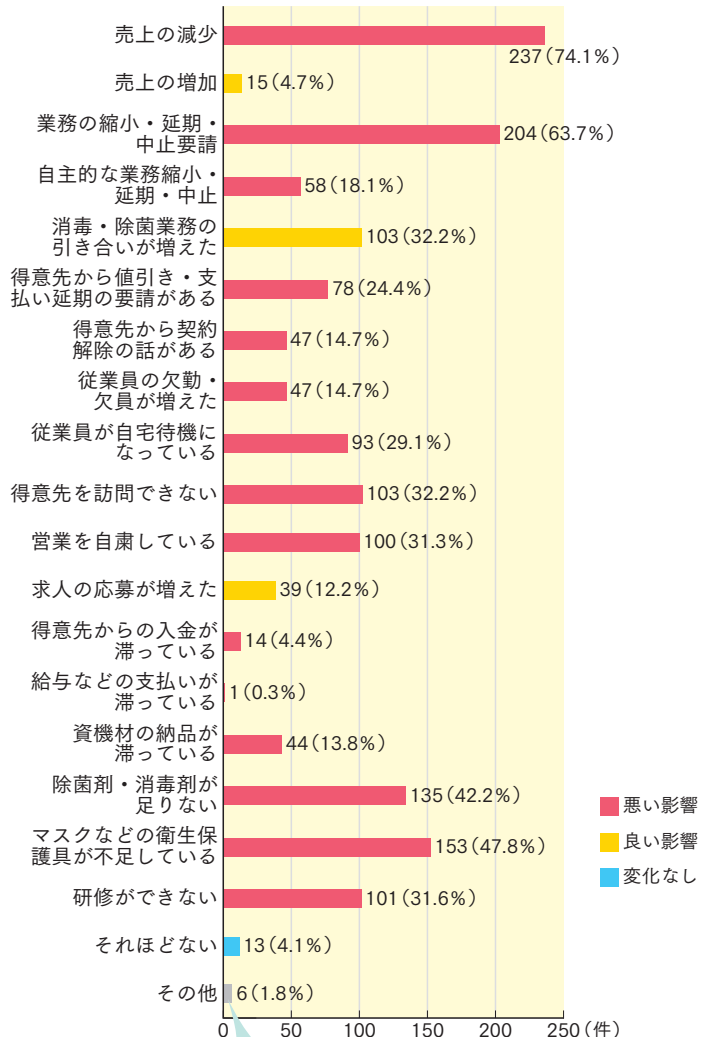
Q2a 経営者・管理職（課長以上）の方にお聞きします。

回答数：320件

2-1 経営に影響がありましたか？

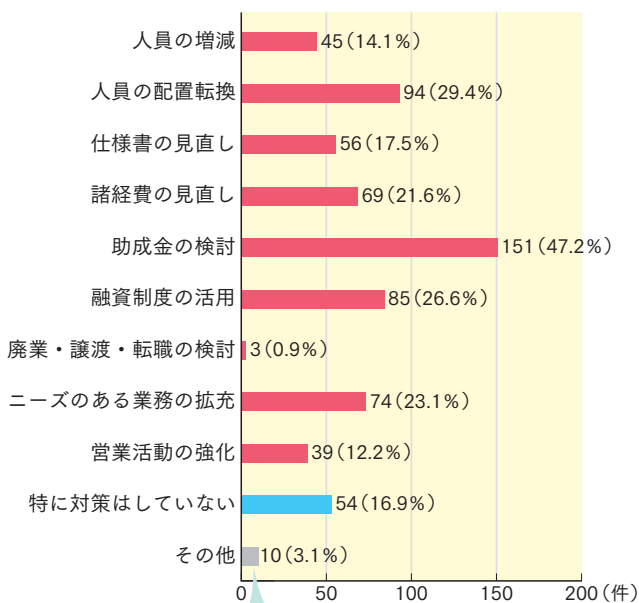


2-2 どんな影響がありましたか？（複数回答可）



その影響に対して行った対策は何ですか？

2-3（複数回答可）

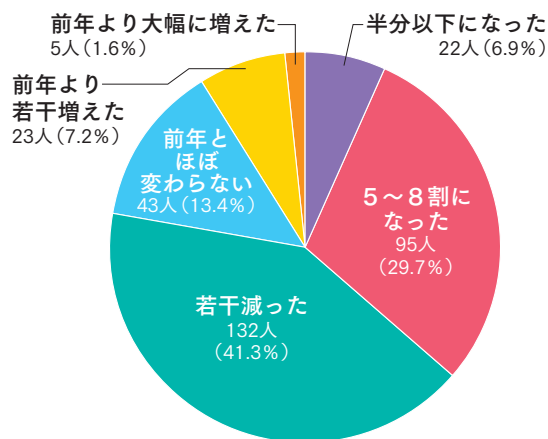


対策の方法がない、自己資金による休業補償、他の除菌剤の使用、新商品の開発、値上げ、借入金の支払い方法変更、作業回数削減の提案と実施、新事業の開始とそれに伴う設備投資、テレワーク環境の構築、現場への指導 など

求人がまったくこない、取引先の倒産、ビルメンは減少傾向、酸性電解水生成器の販売が好調、休業保証に伴う人件費の増加、得意先の倒産 など

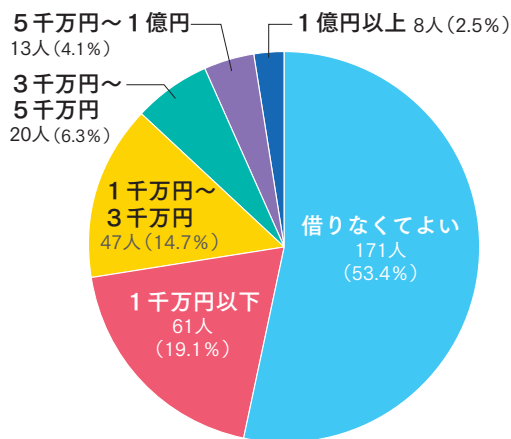
前年の同時期と比較して、売上はどのくらい増減しましたか？ (予測でも可)

2-4



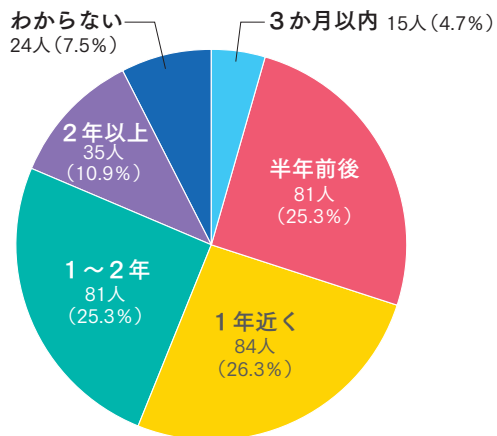
政府の無利子融資制度を受けられるとしたらどのくらい借りたいですか？

2-5



影響はどれくらい続くと思いますか？

2-6

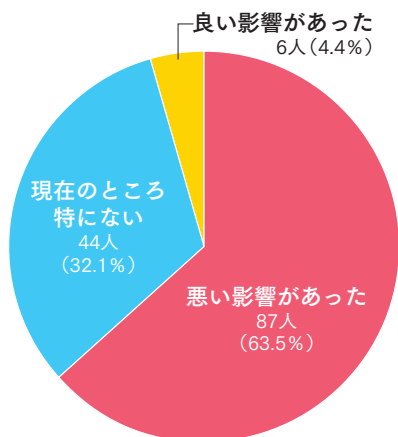


Q2b 一般社員・現場作業員の方にお聞きします。

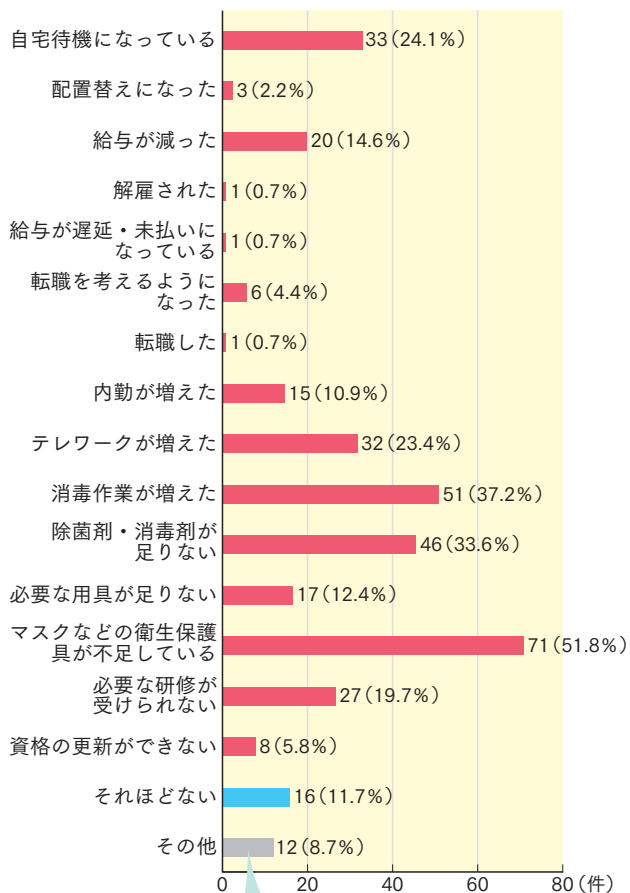
回答数：137件

2-1 あなたの業務に影響はありましたか？

2-1

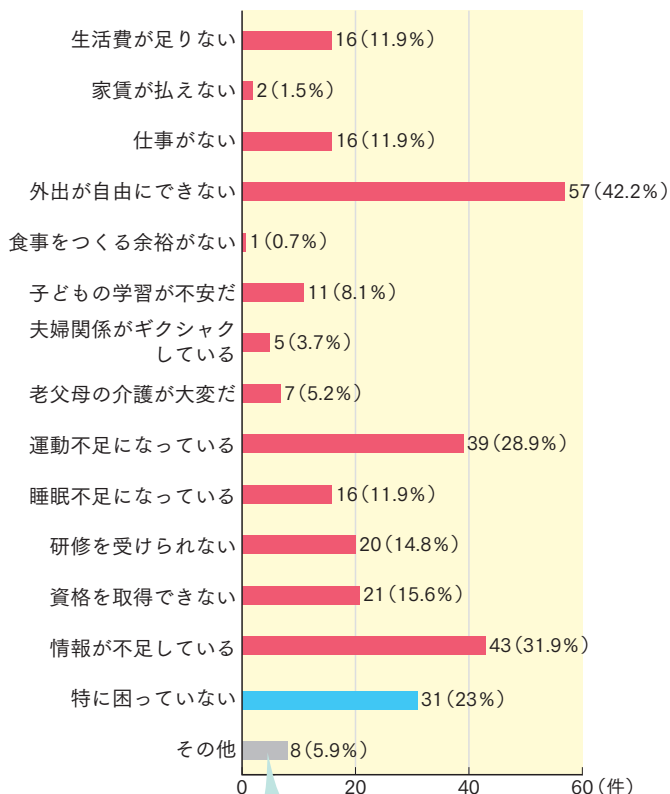


2-2 どんな影響がありましたか？ (複数回答可)



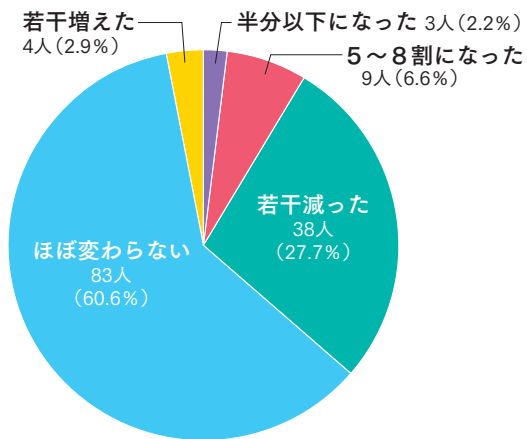
仕事の量が減った、業務が中止または延期、付帯作業を大量受注した、現場キャンセルが出た、会社からの感染予防の指示がない、定期清掃の中止、マスク着用義務化 など

2-3 困っていることは何ですか？ (複数回答可)



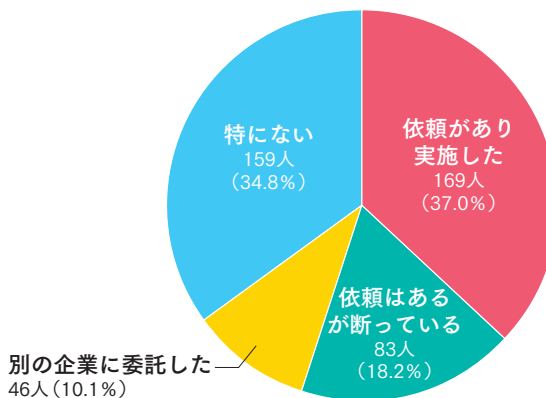
現場管理がしにくい、コミュニケーションの不足・業務の遅延、会社からの感染予防指示がない、ノウハウが少なく不安、人手不足、研修計画が立てられない、マスクが暑くて熱中症になりそう、仕様以外の消毒清掃が増えた など

2-4 新型コロナウイルスの影響で、収入はどのくらい増減しましたか？ (予測でも可)



Q3 消毒・除菌作業についてお聞きします。

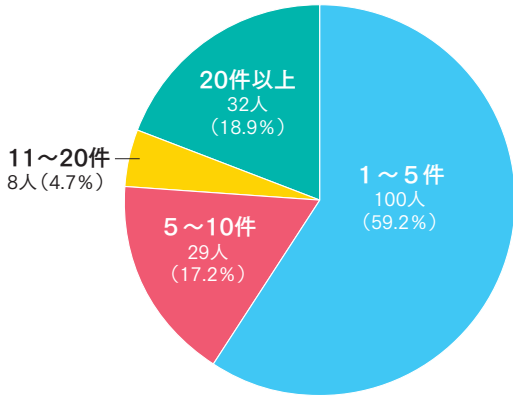
3-1 新型コロナウイルスの影響で消毒作業の依頼はありましたか？



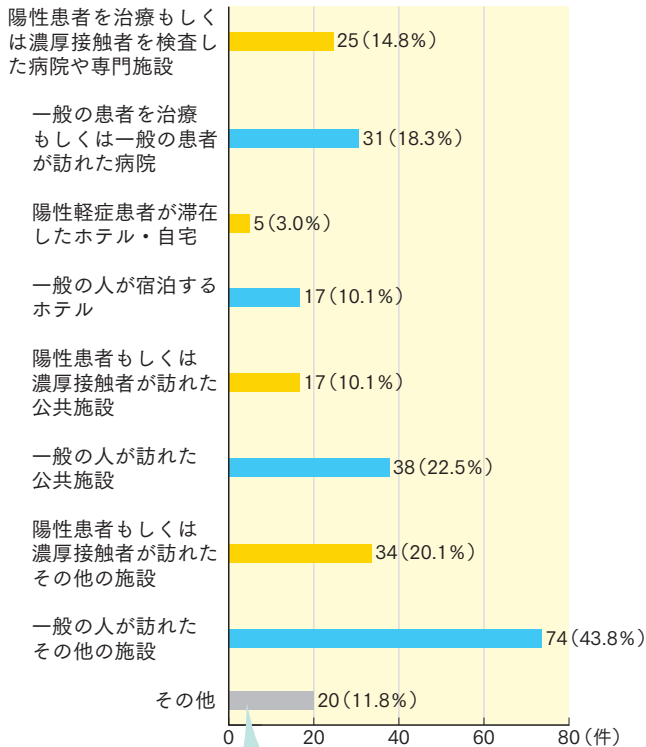
Q3a 「依頼があり実施した」と回答した企業にお尋ねします。

回答数：169件

3-2 これまで依頼の件数は合わせてどのくらいですか？

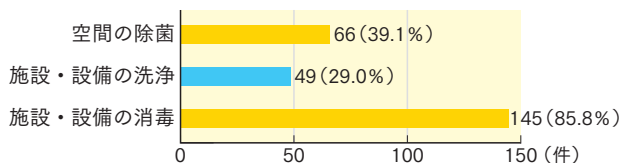


3-4 どんな場所を作業しましたか？（複数回答可）

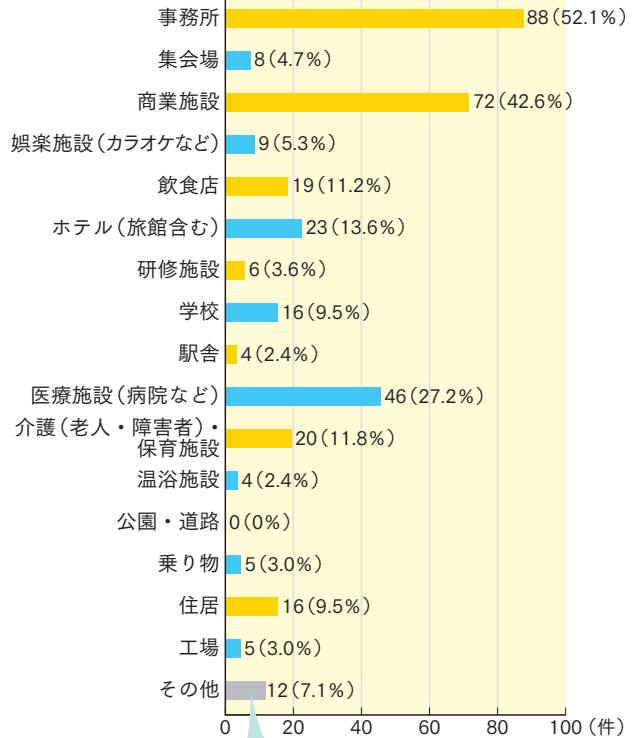


感染疑いの人を乗せた車両、予防消毒、一般の人の自宅、エレベーターの中、学校内供用部 など

3-5 どんな内容の作業を行いましたか？（複数回答可）

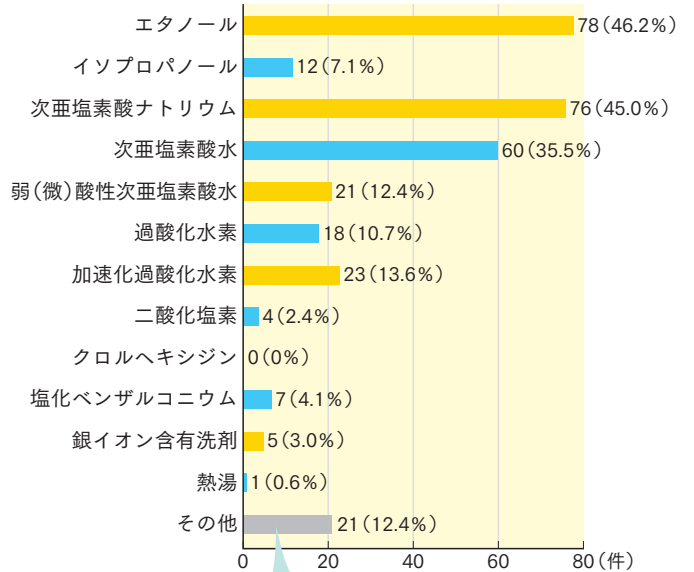


3-3 どんな施設で実施しましたか？（複数回答可）



放送局、保養所、建築現場、金融関係、オフィスビル内のテナント、郵便局、物流倉庫、エステ、作業場、斎場、銀行、空港 など

3-6 使用した消毒剤は何ですか？（複数回答可）

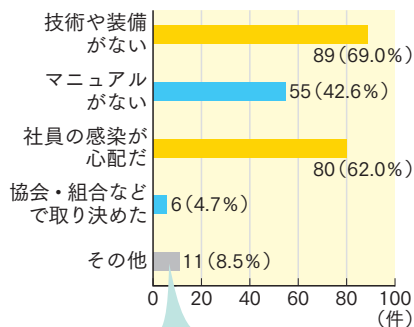


オゾン、4級アンモニウム塩、空調機器の洗浄用専用洗剤、メーカー指定薬剤、外注委託、亜塩素水、亜塩素酸水、塩化アンモニウム系、アルコール、13pH電解水、オリジナル、HDQニュートラル など

Q3b 「依頼はあるが断っている」「別の企業に委託した」と回答された企業にお聞きします。

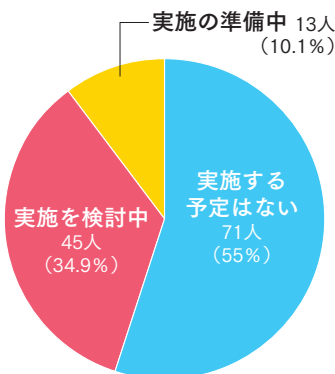
回答数：129件

3-2 自社で作業を行わない理由は？

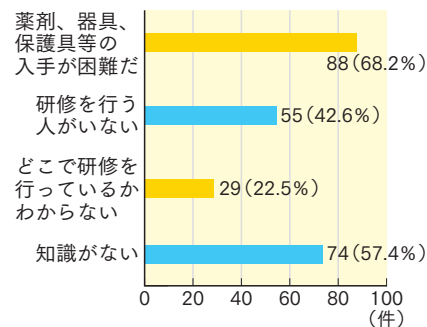


人手不足、現在はやる方向で調整中、契約書にないから、薬品不足、防護服不足、風評被害の可能性があるため、自粛 など

3-3 今後、消毒・除菌作業の実施の予定はありますか？



3-4 実施する場合の課題は何ですか？



Q4 今回のコロナ感染問題について、行政や所属企業に対して要望や質問を自由にお書きください。

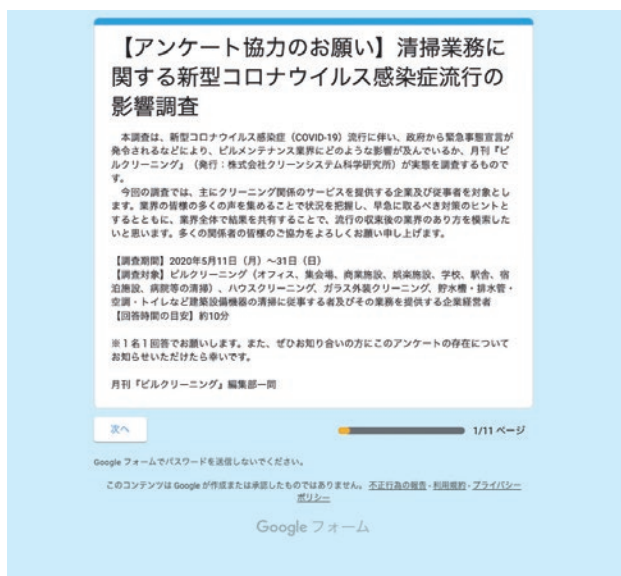
回答数：199件

Q5 新型コロナウイルス関連で心に残るエピソードがあればご記入ください。

回答数：139件

Q6 今後、コロナ感染問題に対して清掃業界や企業はどうあるべきか、何をすべきか自由にお書きください。

回答数：247件



アンケートフォームのトップページ

月刊『ビルクリーニング』とは？

1988年7月創刊、ビル清掃業界で唯一の専門雑誌『ビルクリーニング』。毎月、実際の清掃現場を取材し、「清掃スタッフのための技術情報マガジン」として現場情報や使用資機材紹介、スタッフ教育に欠かせない危険予知訓練、現場責任者を育成するマネジメント講座など、他にも清掃業界の最新トピックスを発信中。近年は、オフィスビルなどを中心に導入が進んでいる清掃ロボットやICT・IoTを活用した事例も追い、業務の省力化・効率化についての記事掲載も行っている。

2020年6月号では「ビルメンのための消毒作業マニュアル作成の手引き」を特集し、「〈ビルクリ版ガイドライン〉新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を防ぐ施設の清掃と消毒」と題し、消毒作業の目安となるガイドライン、標準マニュアルを作成。現在、〈<http://bc-ol.com/post-3.html>〉で無料閲覧&ダウンロードが可能となっている。



【株式会社クリーンシステム科学研究所 会社概要】

会社名：株式会社クリーンシステム科学研究所

所在地：東京都荒川区西日暮里5-26-7 クレセントビル3F

代表取締役：坂上逸樹

電話番号：03-5811-5945

URL：http://www.cleansys.co.jp

事業内容：月刊『ビルクリーニング』の発行・販売

- 建築物清掃管理業務に関する書籍等の発行・販売を行う「ビルメンブックセンター」の運営
- インターネットの活用による業界情報提供「ビルクリーニング・オンライン」の運営
- 写真付き報告書作成アプリ「123レポーター」の販売
- 関連講習会等の企画・運営
- 関連企業・団体の発行物の請負制作
- 各種取材記事等の制作

本記事についてのお問い合わせは、株式会社クリーンシステム科学研究所内月刊『ビルクリーニング』編集部・比地岡（ひじおか）まで。

電話番号：03-5811-5945 メール：hijioka@cleansys.co.jp